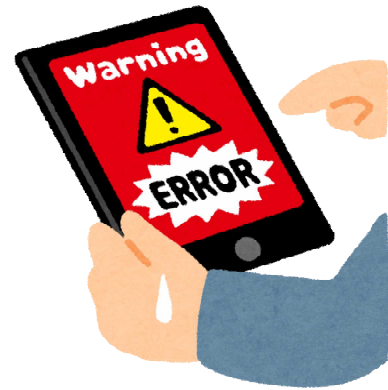


事例②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話やパソコンに、有名企業から「未払いの料金がある」というメール・メッセージが届いた。</li> <li>・パソコンを使用中、画面に「コンピューターウイルスに感染しました」等のメッセージが表示された。</li> </ul>
-----	---

【詳細】

被害者の携帯に「差出人：NTT サポートセンター」と書かれたメッセージが届きました。その内容は、  
「ウェブサイト利用料金が未払いです。」  
「本日中に支払いがなければ、裁判になる。」  
というものでした。



被害者は慌てて、書いてある電話番号に連絡したところ  
「未払いの利用料金を支払うためには、コンビニで電子マネーを購入してください。」  
「電子マネーカードの裏面の番号を教えてください。」  
「本日中に支払えば、裁判にならずに済みます。」  
などと言ってきたので、被害者に指示通りに行動してしまいました。

結果として被害者は多額の電子マネーカードを購入し、相手にカードの番号を伝えたことでそれらをすべてだまし取られてしまいました。

【補足】

- ・NTT、アマゾン、個人データ保護協会など、実在する企業や団体を名乗る事例が多いです。
- ・電子マネーを購入させる、ATMで現金を振り込ませるなど、様々なパターンがあります。

【対策】

- ・電子マネーカードの番号を、他人に伝える支払い方法は“ありません”！
- ・実在する企業等からのメールに見えても、本当にその企業から送信されているとは限りません。  
→ 不安なときは、企業等の正しい連絡先に、こちらから連絡して確認しましょう。  
→ 正しい連絡先が分からない時は、周りの人に確認してもらいましょう。  
**メッセージに書かれた番号には、絶対に連絡しない！**
- ・犯人は「今日が締め切りだ」「裁判になる」などと、焦らせて正常な判断をできなくしてきます。  
→ まずは落ち着いて、周りの人に相談しましょう。
- ・パソコン画面に、突然、警告画面が表示された時は、おやみに画面をクリックせず、詳しい人や家族などに相談しましょう。  
→ メールアドレスやパスワード、暗証番号は絶対に教えたり、入力してはいけません！